



勤労者研修センター二階 第二研修室での打ち合わせ

あだたら

三月二十八日(水)

来年度行事計画打合実施

報告 編集部

発行所
本松市大ノ根
あだたら山の家
編集部

●編集部連絡先
二本松市野内1-5-15
0243(22)4245
渡辺 正

三月二十八日(水)午後七時から、二本松市野内の市勤労者研修センターで来年度の行事計画案についての打ち合わせを行いました。参加者は会長、副会長と企画広報担当理事他。来年度も今年度と同様、月例山行と平日山行を行うこと、創立六十周年記念の山行を行うこと等が話合われました。結果は四月十日の役員会を経て、二十九日の総会で提案され、来年度の計画が決まります。



お彼岸の安達太良山 本宮から

▼三月四日(日)、湯ノ平くすの内登山口へ、始めて登ったのが平成九年一月二日、二回目として平成十二年一月四日そして平成十三年三月十七日、妻と行った時が最後、雪が三十〜四十センチあり、地元の人にこんな雪の中、何しに行くんだ、等と言われた事を思い出す。震災や原発事故で全村避難、今は解除されたが、人間は一人だけ見る事が出来た。



五十人山

今回は田村麻呂や弘法大師の謂われのある五十人山がどうなっているのか、登山道はどうなっているのか、確認のために行ってきた。二本松九時出発、葛尾村湯ノ平登山口へ約四十五分、十時二十分登山口出発、部落を過ぎると、舗装道路が山へと続くが、落ち葉で舗装道路が砂利道が判らない。古い看板の上から登山道へ入る。雪もあり登山道

が判らない。それらしき所を登る。雪も深くなり、スパッツを着けて登る。古い遊歩道の看板を見つけて、一安心。遊歩道を登り山頂へ着く。約二時間かかった。山頂には巨石、少し下がって所が大きな草原になっていて休むのには最適だ。西



3月11日撮影の くらがね小屋 1階は完全に雪の下

▼三月十一日(日)晴れ、安達太良山冬山パトロールの日。今回も皆と一緒に、自信が無く個人山行。一月は八ノ字、二月は勢至分岐、今回はくらがね小屋まで挑戦して見ようと奥岳九時四十五分出発。雪も多く登山者も多い。何人にも追い越される。勢至分岐の道標の頭が何とか確認出来るくら

の方面、電子山の奥に安達太良山や吾妻山を望む事が出来る。福島では気温二十度との事、五十人山も暖かく一時間の休憩。午後一時半下山、西ノ内登山口(葛尾村中学校)へ、午後三時無事下山した。

個人山行

五十人山(八八三峰) 葛尾村、三月冬山パトロール別ルート

報告 菅野善雄

個人山行 くろがね小屋、口太山

報告 竹部雅代



雪に うかんだような くろがね小屋

▼くろがね小屋往復、
三月某日
今日は、くろがね小屋ま
でと決めていた。奥岳。結
構、車が多い。スキー客と
登山客、半々位。あだたら
スキー場も、もうすぐシー
ズンも終わり。久しぶりの
山だ。不安だった。しかし
晴天だ。もったいない。風
が無く登山日和。自分への
褒美の登山だ。がんばろ
う。登山道脇のグレンデ斜

面の上のほうは土が見えて
た。暖かい日が続いたため、
春の雪に変わった。でも、
登山道にはまだまだ雪があ
る。小屋までずっと雪があ
った。小屋周辺にもたくさ
んの雪。でも、つぼ足で行
けた。
勢至平 から山頂が見え
た。箕輪山も見えた。鉄山
も見えてきたとき、本当に
嬉しかった。やっぱり今の
自分には山しかないのだ。

▼口太山
4月某日
二本松市針道登山口から
だとも大きなキャンプ場があ
り山頂までも近いですが、
今回の川俣町側からだとな



登山口の乳清水、鹿威しが仕掛けられていた

▼口太山
4月某日
二本松市針道登山口から
だとも大きなキャンプ場があ
り山頂までも近いですが、
今回の川俣町側からだとな

出出来るのでオススメで
す。標高八四二m。冬場
は想像以上に積雪があり、
目印も少なく迷うかも。そ
して、恐るべし里山。石尊

山に支えて貰っている。金
明水あたりの斜面が怖い。
慎重に前に進む。
常連の男性客がボランテ
ィアで道を作ってくれてい
た。汗だくだった。小屋の
手前の右側だけは雪が無か
った。もうすぐ水芭蕉が出
てくるかも・・・
小屋の友達が発願で迎え
てくれた。休憩二一〇円、
入湯代四一〇円。温泉に入
った。貸し切りだ。窓を全
開にした。ちよっと顔を出
して鉄山を眺める。凄いな
ら。崩れ落ちないのが不
間。

山頂から降りてきた人た
ちは、スノーシューを付け
てた。三時に小屋を出た。
下山は軽アイゼンを付け
た。登り二時間、下り一時
間。
思議。朝の新聞で、岳温泉
の湯守りの方たちが表彰さ
れた記事を見た。感謝の気
持ちで湯に浸かる・・・
ゆっくりし過ぎた。のぼせ
てしまった。くらくら・・・
早く帰らなきゃ。帰り支度
をしていると次から次へと
宿泊のお客さんがやってき
た。今日も小屋は賑わう。



神社コースは、びっくりの
急登。ここを毎週登って練
習すれば飯豊山に行けるか
も？
川俣町大綱木、R三四九
から林道へ。民家脇にも
駐車場があります。高級車
はここまでが無難。この先
は悪路、でも登山口まで上
がってしまします。登山口
八時着(仮設トイレ・水場
あり)・・・八時十分出発
「猿の首取コース」・・・
雑木林・・・猿滑りの滝が
見えます(水はチロロチロ
ロ)・・・乳子岩経由・・・
八時五十五分猿の首取：・

ブナ：九時五分迷い平：・
九時二十分山頂/休憩十
時：・石尊神社コース：・
石尊神社・・・(GW頃に
トウゴクミツバツツジ)：・
ブナ・・・ウダイカンバの
大木・・・(GW頃にニリ
ンソウの群生)・・・十時
三十五分登山口に戻る
雨上がりは滑って危険で
す。山頂は広い。ベンチが
二つ。珈琲を飲む。眺めが
素晴らしい。吾妻と安達太
良山が全部見渡せる。残雪
がまだまだ見える。口太山
は良い里山です。毎年、G
W中に山開きがあります



(たぶん)。福島市内の桜
は満開になりました。
(編集部から、山開きは五
月十三日(日)、安達太良
山の前の週です、川俣町H
Fから)